

国際学術情報流通をめぐる動向について

1. 日本国内の政策的動向

(1) 『大学等におけるジャーナル環境の整備と我が国のジャーナルの発信力強化の在り方について』の刊行

平成 26 年 8 月にジャーナル問題に関する検討会の審議のまとめが公表された。ジャーナルの利用状況と価格上昇への対応、オープンアクセス推進および日本発のジャーナルの強化について、検討がなされ、各ステークホルダーが協同し、継続的な討議の場を持つことが必要であると示された。

(2) 第 5 期科学技術政策の検討開始

平成 28 年度から開始される第 5 期科学技術基本計画について、内閣府総合科学技術・イノベーション会議 (CSTI) の検討が本格化している。CSTI における議論に資するよう、文部科学省では、科学技術・学術審議会に総合政策特別委員会を設置し、検討を開始している。一方で、内閣府には国際的動向を踏まえたオープンサイエンスに関する検討会が設置され、検討が開始されている。

【参考資料 5】

2. 世界的動向

(1) 欧州・米国のオープンアクセスの状況

米国では、2013 年 2 月にホワイトハウス科学技術政策局 (Office of Science and Technology Policy) が論文と科学データへのアクセス拡大計画の策定を通達した OSTP 指令により、年間 1 億ドルを超える公的助成金を受けた研究のオープンアクセス促進に向けた取組みが進んでいる。欧州においても、2014 年から HORIZON2020 プログラムが開始され、EC では助成をうけた研究成果・研究データのオープン化を義務づける方針の決定している。

(2) オープンデータの進展

米国 NFS の研究資金申請における「データ管理計画」提出の義務化や、英国 RCUK の研究論文のオープンアクセス義務化とデータ公開ポリシーの明示など、政策レベルでのオープンデータの方針が示されるとともに、いくつかの商業出版社からデータジャーナルが創刊されるなど、研究データのオープン化が進展した。ビッグサイエンスを中心とした研究データ共有の試みとしては、World Data System (WDS)、Research Data Alliance (RDA) がある。

(3) 教育資源のオープン化

教育資源についても、従来のオープンコースウェアに加えて、近年、Coursera や edX 等の MOOC がクラウド上でサービス展開されてきた。米国の SPARC では、2015 年も引き

続き、OER(Open Educational Resources)がアドボカシー活動の1つのトピックスとなっている。

3. SPARC Japan (第4期 2013~2015) の活動状況

「国際連携の下でのオープンアクセスの推進、学術情報流通の促進および情報発信力の強化」に取り組むことを基本方針とし、大学図書館と研究者の連携を促進するとともに、オープンアクセスの課題を把握し、大学等のとるべき対応について検討し、これに関するプロジェクトを推進している。

(1) 国際的な OA イニシアティブとの協調

米国 SPARC との MoU を結んでいるほか、COAR, ORCID 等に参加している。また、2014 年から開始した SCOAP³ への日本の大学図書館からの拠出金の支払い、2013 年から会員制プログラムになった arXiv.org のコンソーシアム参加への移行、CLOCKSS の参加図書館のとりまとめなど、NII が日本のオープンアクセス財政支援の国際的な窓口となって進めている。

(2) オープンアクセスの課題への対応と体制整備

大学図書館員と研究者による企画 WG を組織し、年 4 回の SPARC Japan セミナーを実施している。2014 年は、APC 調査、大学の OA ポリシー、オープンサイエンス、研究データのトピックスを採りあげた。 【参考資料 6】

(3) オープンアクセスに関する基礎的情報の把握

平成 25 年度に実施した我が国における APC(Article Processing Charge)に関する調査の報告書を発行し、SPARC Japan セミナーで発表した。

4. システム基盤の整備状況

(1) JAIRO Cloud (共用リポジトリサービス) の強化

新規構築の促進、既存の機関リポジトリからの移行実験、将来のコミュニティ形成にむけた議論を開始している。

(2) NII-ELS の終了と J-STAGE Lite への移行計画の発表

日本国内の学協会誌を電子化し、公開の支援をする事業 NII-ELS が平成 28 年度末に終了することが決定した。今後は、J-Stage Lite、機関リポジトリ等に移行する。

(3) CiNii Books からのオープンアクセスコンテンツへのリンク

CiNii Books の雑誌詳細表示画面から、Web 上で公開されている電子リソース本文へ遷移できるサービスを試行的に公開した。

(4) JaLC (ジャパンリンクセンター) の新システムの公開

国内電子コンテンツに DOI を付与するための共同プロジェクトとして JaLC は JST, NDL, NII, NIMS の 4 者が共同運営している。平成 26 年 12 月 22 日に新システムに移行し、これにより、DOI を付与できるコンテンツの種類が拡大した。現在、研究データへの DOI 登録の実験プロジェクトが進行中である。